

福島県内初の震災遺構、10/24 から一般公開 浪江町立請戸小学校

見学案内

開館時間

9:30~16:30 (最終入館16:00まで)

休館日

毎週火曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)
 年末年始 (12月28日~1月4日まで)
 ※臨時休館する場合があります。

入館料

一般	個人300円 / 団体250円
高校生	個人200円 / 団体150円
小・中学生	個人100円 / 団体50円

※「団体」は20名以上の場合
 ※団体の方は事前予約が必要となります。
 詳細は町ホームページをご覧ください。



2011.4.1
 請戸小学校
 1階廊下

※現在は通路として整備されています。



2011.10.7
 請戸小学校
 体育館内部

アクセス



お車でお越しの場合

常磐自動車道 浪江ICから約25分

電車でお越しの場合

JR常磐線 浪江駅からタクシーで約15分

※駅前にタクシーは常駐していませんので、各自手配してください。

所在地

〒979-1522

福島県双葉郡浪江町大字請戸字持平56

TEL: 0240-23-7041

※窓口対応中などの場合は繋がらないことがありますので、お手数ですが時間を空けて再度お電話ください。

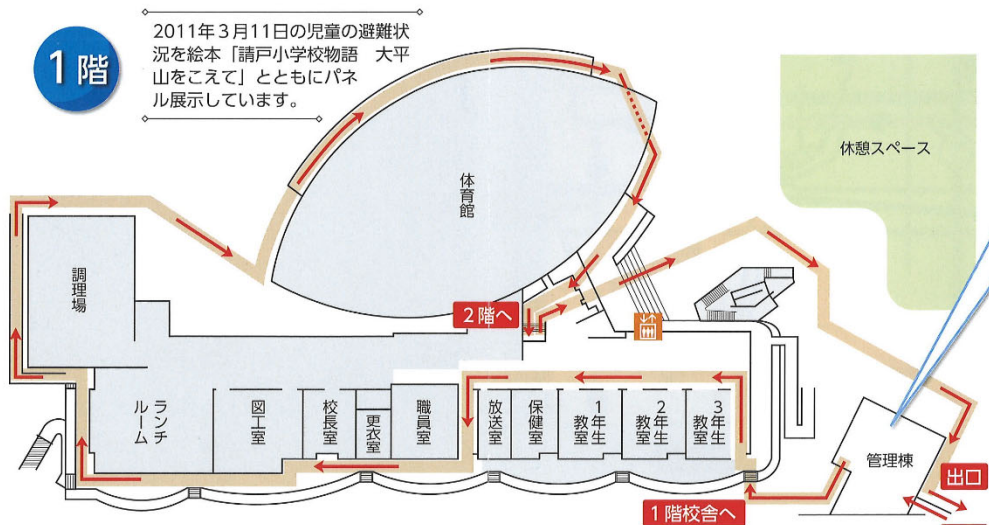
福島県浪江町 震災遺構浪江町立請戸小学校



Ruins of the Great East Japan Earthquake:
 Namie Ukedo Elementary School

見学ルート

管理棟→校舎1階→体育館外周→校舎2階の順にご覧ください。

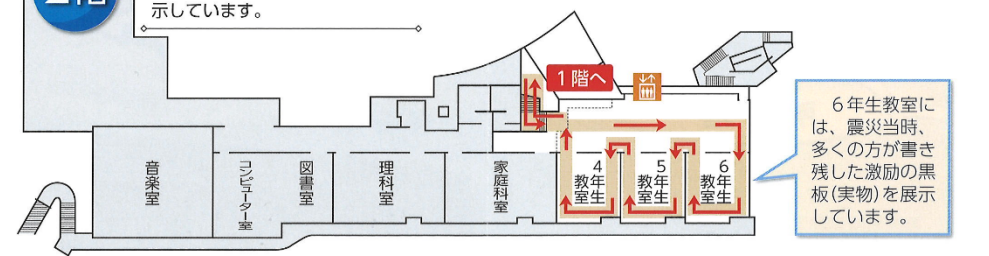


1階

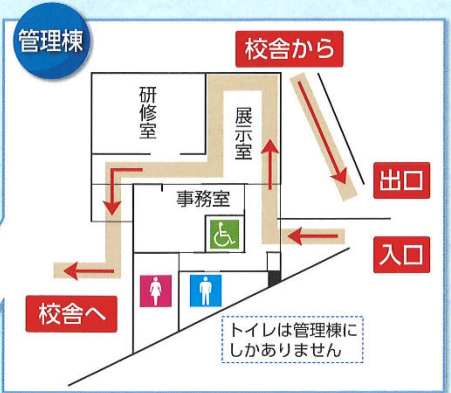
2011年3月11日の児童の避難状況を絵本「請戸小学校物語 大平山をこえて」とともにパネル展示しています。

2階

津波被害後の請戸地区や被災体験談、請戸小学校関連物品などを展示しています。



6年生教室には、震災当時、多くの方が書き残した激励の黒板(実物)を展示しています。



—全員が無事避難することができた
請戸小学校の奇跡—

浪江町立請戸小学校

1873年、浜谷善一氏宅に広業小学が創立されたことから始まり、建替えや改称を経ながら長年にわたって地域に愛されてきた請戸小学校。

2011年3月11日、未だかつて経験したことのない大地震・大津波とその後の原発事故に見舞われ、甚大な被害を受けました。当時通っていた児童93名(うち1年生11名は帰宅していた)は、教職員の迅速な判断と児童の協力により、奇跡的に全員が無事避難することができました。

地域のシンボルである請戸小学校を震災遺構として整備・保存し、防災について考えるきっかけとして、また、後世へ伝承していくための施設として公開しています。

- 男子トイレ
- 女子トイレ
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 駐車場

